

暑熱・寒冷環境での実使用下における機能性能を検証！ ～ 高温・低温・高湿度環境における機能性の“見える化” ～

製品の性能は、実際の使用環境によって大きく変化します。本試験では、“恒温恒湿室”を用いて高温・低温・高湿度などの環境条件を再現し、繊維製品や生活雑貨品の機能性を分かりやすく可視化します。

夏場の高温多湿環境や冬場の低温環境など、実使用に近い環境下で評価することで、遮熱性・保温性・吸湿性・冷却性などの性能を“見える化”し、製品開発や販促に活用可能なデータを提供します。

01 対応可能な環境（温度・湿度条件）

○温度：0℃～60℃

○湿度：30%RH～90%RH

◆ 使用環境の例

夏場の室内環境（暑さ・ムレ評価）→ 28℃ × 60%RH

冬場の室内環境（保温・発熱評価）→ 10℃ × 30%RH

高温多湿の環境（遮熱・冷却評価）→ 35℃ × 85%RH

左記以外の環境でも対応できることがあります！
まずはお気軽にご相談ください！



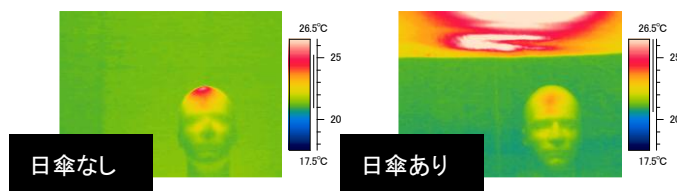
02 活用事例

遮熱・断熱性能

衣料品・日傘の遮熱性能を

見える化し、“訴求”に活用！

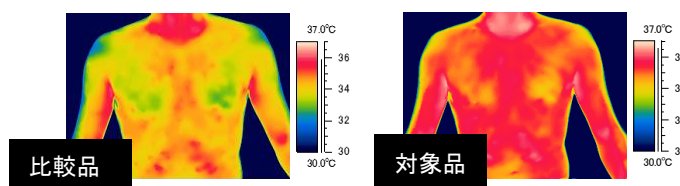
測定環境： 20℃ × 65%RH



防寒・吸湿発熱性能

防寒具の保温・発熱特性を評価し、
表示の根拠として活用！

測定環境： 20℃ × 65%RH

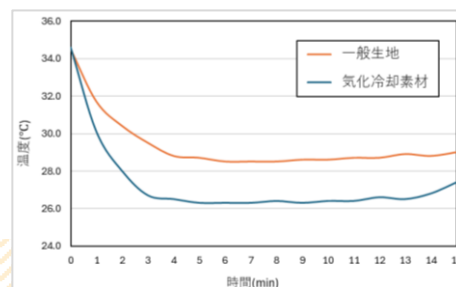


冷却・温度調整機能

測定環境を変化させて

気化冷却素材の実使用条件を再現！

測定環境： 35℃ × 30%RH



03 ご依頼の流れ

- ① 事前の打合せ（評価目的の確認、成果物のイメージの共有）
- ② 試験条件の決定、ご提案
- ③ 試験実施・報告書の提出



まずはご相談ください！

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。